

第6学年 理科学習モデル指導案

1. 単元名 「水溶液の性質」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○日常生活には、水溶液の性質や働きを生かした商品があり、科学的な知識で商品を見直すことで自分や家族に合った商品を選ぶことの大切さに気付くことができる。

(2) 本時の展開(最後の15分の展開)

分	教師の支援	学習活動
2	○液性について、身近な生活で知っていることを振り返る。	T : 酸性・中性・アルカリ性という言葉をつかった商品について知っていることがありますか。
	☆ワークシート「自分にあつたシャンプーを使おう」を配布し、同じ商品でも性質が異なるものがあることを知り、自分に適した商品を選ぶ視点を持つことができる。	
3	○自分の使っているシャンプーには液性があることを知らせる。 *液性の違うサンプルを提示する。 *液性や特性の違いをワークシートからつかむ。 *人間の体(肌・皮脂膜)は酸性(弱酸性)であることを伝える。	T : 使っているシャンプーはどんな理由で選んでいますか。 C : 香り C : 値段 C : 買ってきたものを気にせず使う
4	○自分に適したシャンプーはどのような液性の商品がよいのかを考え、理由をワークシートに記入する。	T : 自分の体質や髪質からどのようなシャンプーを選べばよいか考えを書きましょう。 C : 成分表示を見て
3	○数人に発表させ、友達のいろいろな考えを共有する。 *それぞれの液性について発言を取り上げられるよう、机間指導中に把握しておく。	C : 髪質や肌に合うかどうか C : 値段や好きな香り T : 液性を知ること成分にも目を向け、体質や髪質に合わせた商品を選ぶことができますね。私たちの身の回りには使う人の特徴やニーズに合わせた商品がたくさん開発されています。 C : 自分(お家の人)にあつた商品を選ぶようにしたいです。
3	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p>身近な商品の中には、使う人の体質や性質、好みにあわせて開発されたものも多いですね。科学的な知識を生かすことで、自分や家族に合った商品を選ぶことができます。</p> <p>この例のように学んだことを日常生活に結び付けていくことは、よりよい生活を送ることにつながっていきます。健康にもかかわってくるかもしれません。今日の学習を生かして身近な商品を選べる視点をもてるようになってほしいですし、みなさんの中からも使う人の立場に立った商品を開発していくような人も出てくるかもしれません。だれかの役に立つ仕事に就くというのは素晴らしいですね。</p>	

